

島根労働局発表

令和2年6月22日

島根労働局職業安定部職業対策課

担 職業対策課長 竹谷 一彦

障害者雇用担当官 藤村 純

当 TEL 0852-20-7021

## 令和元年度ハローワークを通じた島根県内の 障害者の職業紹介状況等

島根労働局（局長 倉持 清子（くらもち きよこ））は、令和元年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数は、998件（対前年度比0.2%減）となり、就職率（新規求職申込件数に対する就職件数の割合）は59.7%（同2.2ポイント減）となりました。

### ポ イ ン ト

○ 新規求職申込件数は1,671件（前年度1,615件）で、対前年度比3.5%（56件）の増となり、また、就職件数は998件（前年度1,000件）で、対前年度比0.2%（2件）の減となった。

	新規求職申込件数				就職件数			
	30年度	元年度	対前年度	前年度比	30年度	元年度	対前年度	前年度比
身体障害者	316件	<b>342件</b>	26件増	8.2%増	185件	<b>161件</b>	24件減	13.0%減
知的障害者	307件	<b>268件</b>	39件減	12.7%減	191件	<b>203増</b>	12件増	6.3%増
精神障害者	848件	<b>889件</b>	41件増	6.0%増	541件	<b>518件</b>	23件減	4.3%減
その他の障害者※	144件	<b>162件</b>	18件増	12.5%増	83件	<b>116件</b>	33件増	39.8%増
合 計	1,615件	<b>1,671件</b>	56件増	3.5%増	1,000件	<b>998件</b>	2件減	0.2%減

○ 産業別の就職件数は、多い順に、「医療、福祉」（構成比22.1%）、「卸売業、小売業」（同17.8%）、「製造業」（同13.2%）などとなった。

○ 職業別の就職件数は、多い順に、「運搬・清掃・包装等の職業」（構成比29.6%）「サービスの職業」（同18.6%）、「事務的職業」（同16.5%）などとなった。

※ 「その他の障害者」とは、発達障害者、難治性疾患患者、高次脳機能障害者等である。

# 令和元年度障害者の職業紹介状況等

島根労働局

## 1 新規求職申込件数

新規求職申込件数は、前年度比 3.5%増の 1,671 件（前年度 1,615 件）となりました。

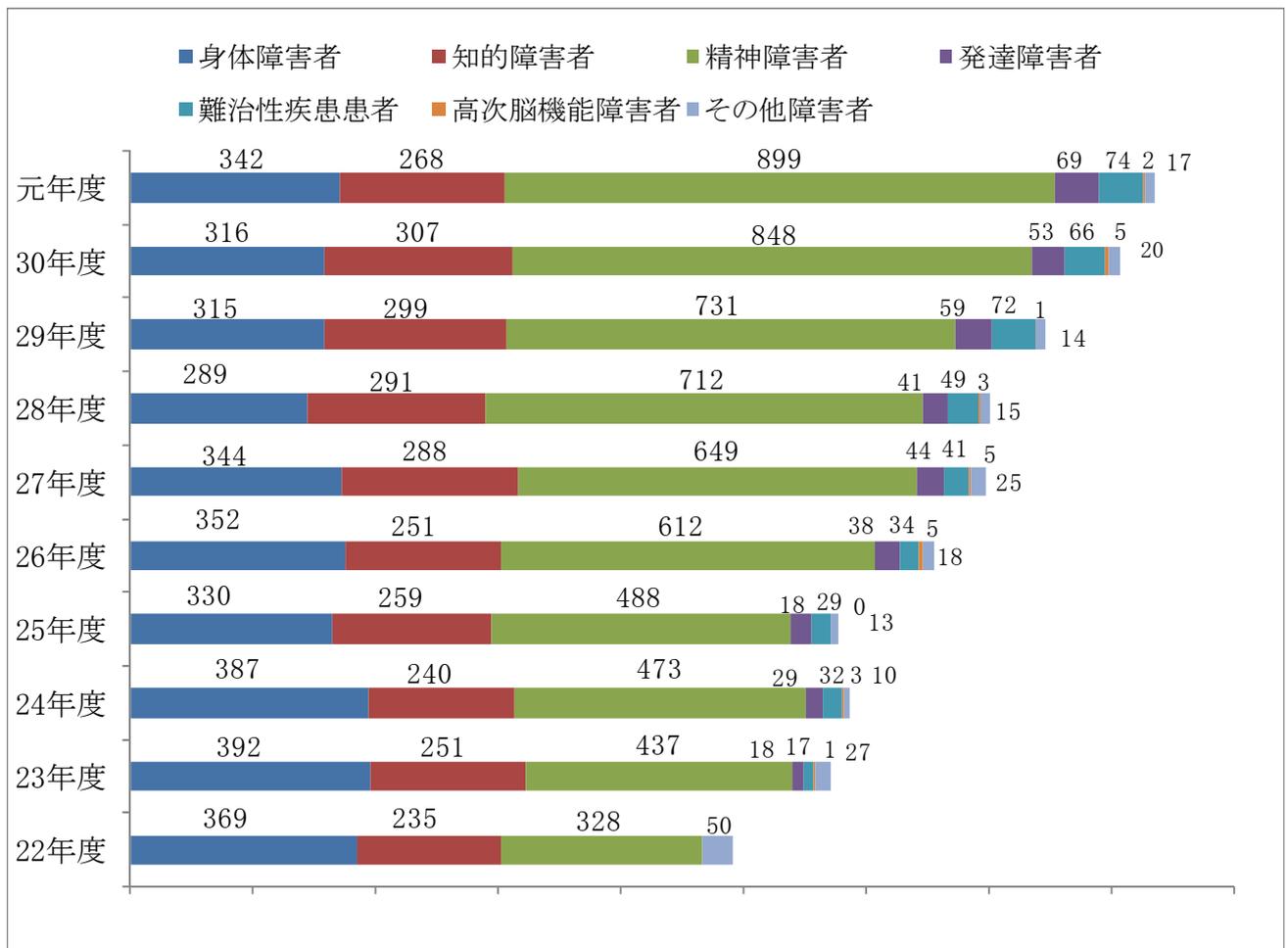
障害種別でみると、身体障害者は 8.2%増の 342 件（同 316 件）、知的障害者は 12.7%減の 268 件（同 307 件）、精神障害者は 6.0%増の 899 件（同 848 件）、発達障害者は 30.2%増の 69 件（同 53 件）、難治性疾患患者は 12.1%増の 74 件（同 66 件）、高次脳機能障害者は 60.0%減の 2 件（同 5 件）となっています。

【表 1】 新規求職申込件数の障害種別状況 (単位:件:%)

	新規求職申込件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※	
令和元年度	1,671	342	268	899	69	74	2	17
平成30年度	1,615	316	307	848	53	66	5	20
前年度比	3.5	8.2	▲ 12.7	6.0	30.2	12.1	▲ 60.0	▲ 15.0

※ 「その他障害者」とは、精神 3 疾患（統合失調症、そううつ病、てんかん）以外の精神疾患で精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていない者又は身体障害者障害程度等級が 7 級の者等である。【表 2】 同様。

【グラフ 1】 新規求職申込件数の障害種別状況 (単位:件)



## 2 就職件数

ハローワークを通じた障害者の就職件数は、前年度比 0.2%減の 998 件（前年度 1,000 件）となりました。

障害種別でみると、身体障害者は 161 件で前年度比 13.0%減（前年度 185 件）、知的障害者は 203 件で同 6.3 増（同 191 件）、精神障害者は 518 件で同 4.3%減（同 541 件）、発達障害者は 48 件で同 45.5%増（同 33 件）、難治性疾患患者は 52 件で同 44.4%増（同 36 件）となっています。

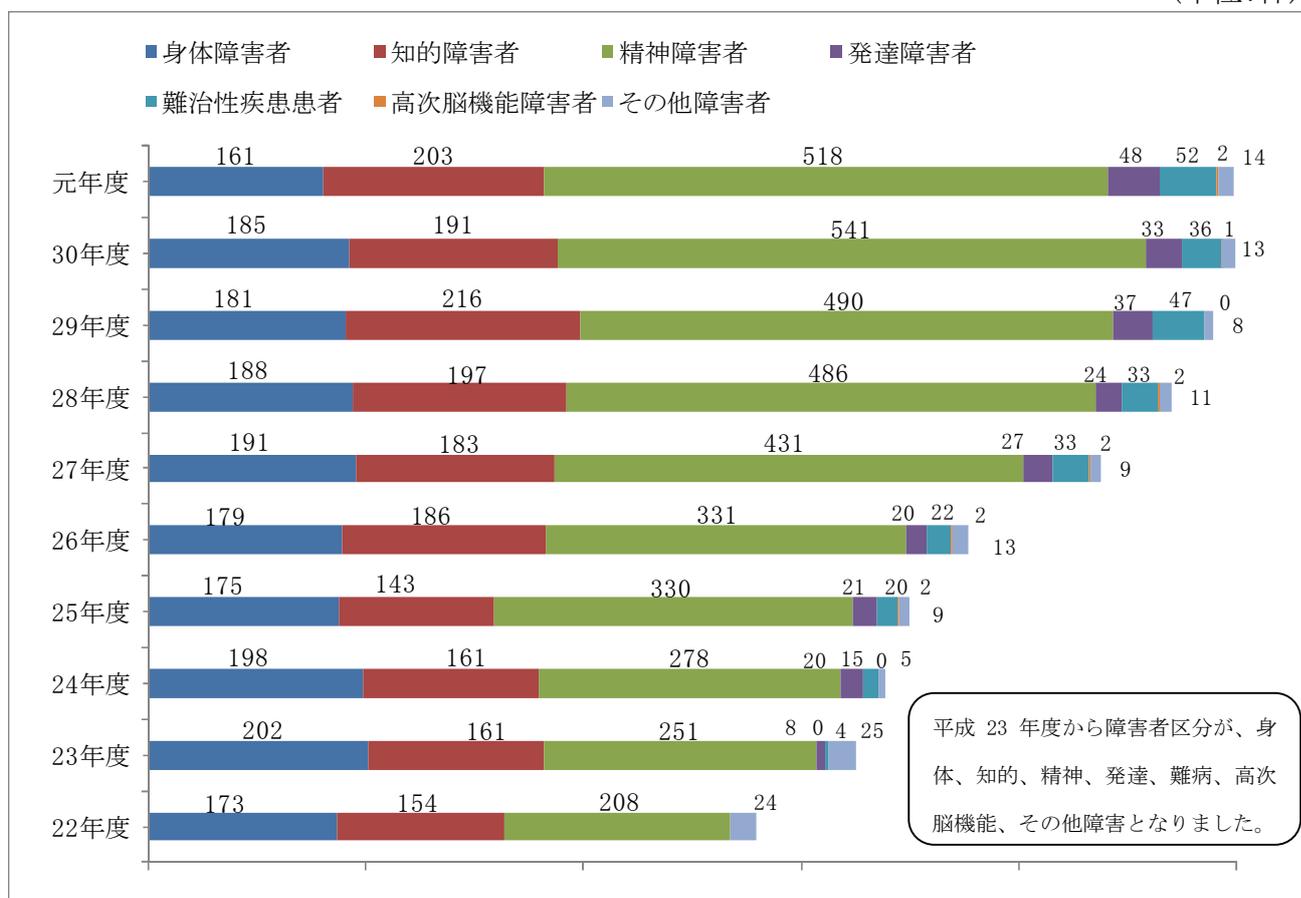
【表2】 就職件数の障害種別状況

(単位:件:%)

	就職件数	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※
令和元年度	998	161	203	518	48	52	2	14
平成30年度	1,000	185	191	541	33	36	1	13
前年度比	▲ 0.2	▲ 13.0	6.3	▲ 4.3	45.5	44.4	100.0	7.7

【グラフ2】 就職件数の障害種別状況

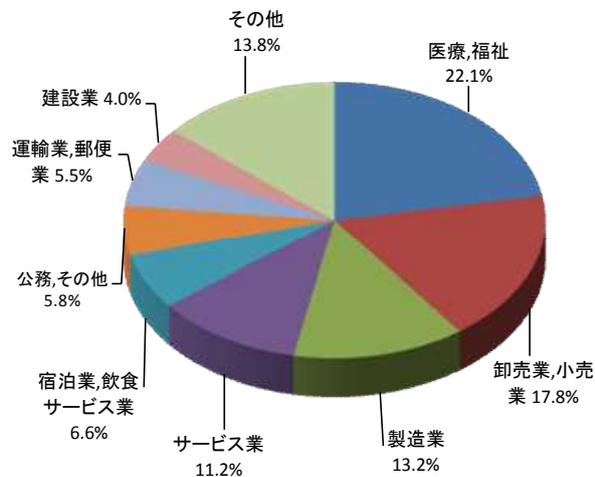
(単位:件)



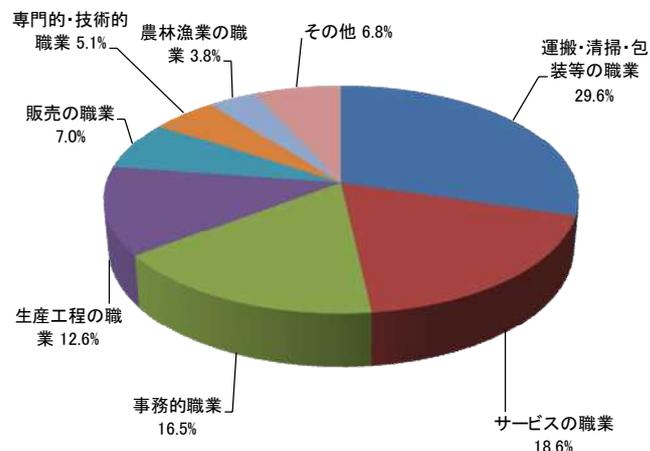
就職件数を産業別にみると、「医療、福祉」が最も多く全体の22.1%、次いで「卸売業、小売業」17.8%、「製造業」13.2%の順となっています。

職業別では、「運搬・清掃・包装等の職業」が最も多く全体の29.6%、次いで「サービスの職業」18.6%、「事務的職業」16.5%の順となっています。

【グラフ3】産業別就職状況



【グラフ4】職業別就職状況



### 3 解雇者数

令和元年度の解雇者数は6人となっており、前年より25人減少しました。解雇理由は事業廃止・縮小によるもの（6人）となっています。

【表3】解雇者の状況

(単位:所:%)

	①解雇届提出があった事業所数	②解雇者数		③解雇理由			④障害種別		
		うち派遣	事業廃止	事業縮小	その他	身体	知的	精神	
平成30年度	10	31	0	26	4	1	10	9	12
令和元年度	5	6	0	3	3	0	3	3	0
前年度比	▲ 50	▲ 81	-	▲ 88	▲ 25	▲ 100	▲ 70	▲ 67	▲ 100

【グラフ5】障害者解雇者数の推移

(単位:人)

